

臨床研修に関する情報公開

腎盂尿管移行部狭窄における腹腔鏡下腎盂形成術に関する観察研究 ～3D 腹腔鏡および術前尿管カテーテル挿入の有効性について～

現在、腎盂尿管移行部狭窄に対して腹腔鏡下腎盂形成術を施行した患者さんの医学的なデータを集めて、研究を行っております。

研究に際し、調査登録の対象になるのは 2002 年 7 月から 2016 年 5 月に腹腔鏡下腎盂形成術を施行した 66 症例で、特に 2014 年 4 月から 2016 年 5 月までの 3D 腹腔鏡を使用した 16 症例を綿密に調査しています。研究に際しての調査項目は以下の医学的情報で、あなたのお名前、住所などのプライバシーに関する情報は含まれません。

年齢、身体所見、各種検査（採血や CT 等）により得られた情報、手術等の診察所見等、匿名化された関連する医学的情報は、邑楽館林医療事務組合館林厚生病院泌尿器科の研究者により解析が行われます。その研究成果は、腎盂尿管移行部狭窄に対する診療レベルの向上につながると期待されています。調査したデータは分析され、医学専門学会（2016 年 11 月の日本泌尿器科内視鏡学会総会等）や専門雑誌等で報告されることがあります。

本研究に関する医学的データの利用に関しまして、不同意意思がございましたら、下記連絡先まで、2016 年 9 月 30 日までにお申し出ください。なお、データの提供をお断りになった場合におかれましても、それによって診療上不利になることは一切ありません。また、この件に関しまして、ご質問等がございましたら、遠慮なくお尋ねください。

なお、本研究は当院倫理委員会の承認を受けております。

邑楽館林医療事務組合 館林厚生病院 泌尿器科 部長(副院長) 中村敏之

本件に関するご質問・お問い合わせ先 : 平日 9:00-17:00

担当者:泌尿器科部長 (副院長) 中村敏之 連絡先:TEL: 0276-72-3140